



エゾアカバナ	<i>Epilobium montanum</i> L.	絶滅危惧I類	
		アカバナ科	
選定理由	生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。	<p>写真(清水英彦)</p> 	
形態の特徴	茎は全体に上向きの屈毛を密生し、高さは30-50cm。葉は短柄があり、長さ3.5-5cm、幅約1.5cm、卵形。花期は7-9月。花は直径1-2cmで紅色、柱頭が4裂する点で類似のアカバナ類と区別できる。蒴果は伏毛を密生し、腺毛がまじる。		
生態的特徴	山地の湿った所に生育する多年草。		
分布状況	北海道・本州(中部地方以北)に分布し、岐阜県では県北の山地に分布する。		
減少要因	開発に伴う山林伐採、砂防工事、土石流等による斜面崩壊。		
保全対策	山林の保全。		
特記事項			
参考文献	北川政夫. 1982. ミソハギ科. 「日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類」(佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・巨利俊次・富成忠夫編)pp260-261. 平凡社, 東京.		

文責: 清水英彦